2022年11月4日

号外 立憲民主 RIKKEN MINSHU

衆議院議員・小児科医　No.655

あべともこニュース

コロナ感染症を支える安心できる医療体制の確立を

◆再エネ100に向け、今できること

超党派議連「原発ゼロ・再エネ100の会」は、「再エネ100！に向けて、ソーラーシェアリングの現在未来」と題し、2度に渡り、その可能性と普及拡大について徹底討論しました。

今回は、群馬県を中心に180ヶ所の太陽光発電稼働に取り組んでおられるファームドゥグループ岩井様をお招きし、太陽光と土地の最大限活用が農業の可能性を開くだけでなく、温室効果ガス削減に貢献し、新たな雇用も生まれる実例をご紹介いただきました。

80万kWといわれる農地をもっと積極活用すべきです。また、災害時の非常用電源としても注目されています。

今後も原発ゼロ・再エネ100の為あらゆる課題に取り組んでいきます。

出典ファームドゥ様では、両面縦型の太陽光パネルを採用！

◆新型コロナから命を守る政策を！

政府は9月26日から、新型コロナ感染者の届け出方法を高齢者や重症化リスクのある場合に変更しました。更に今後はインフルエンザとの同時感染拡大を考え、外来受診も同様に制限する考えです。

しかし基礎疾患のない10代の若者でも、体調が急変して亡くなるケースが従来から知られており、誰もが医療につながる体制は不可欠です。

更に、今後も感染拡大に対応するためには、PCR検査などを担う地方衛生研究所が大きな役割を果たしますが、今回の法改正ではその法的位置づけすらされていません。地方の公衆衛生の拠点としての人員、予算体制の充実は待ったなしです。また、コロナの下水検査も重要です。流行の早期の察知と対策こそ蔓延を防ぐのです。

◆子どものワクチンに接種義務は不要

コロナ子ども用ワクチンは、本年2月から接種が行われている5-11歳用に続き、先月には6か月～4歳用ワクチンが始まりました。どちらも国内での有効性のデータがないまま導入（特例承認）されたワクチンであるにも関わらず、接種に「努力義務」が課されているのです。本来「努力義務」は、まん延予防のために緊急に必要があるときだけ（予防接種法）。

あべともこは11月2日の厚生労働委員会で、日本の子どもに関して、安全性、有効性のデータもなく、蔓延予防効果も確認されていないワクチンに努力義務は乱暴と追及。諸外国では多くの国が4歳以下の子どもへの接種を見合わせています。

親にとって心配なのは、直後の目に見える副反応だけでなく将来の未知の副反応です。国はこうした声に真摯に答えるべきです。

衆議院議員あべともこ
プロフィール
神奈川12区（藤沢市・寒川町）
当選8回、東京大学医学部卒業、
小児科医、あべともこどもクリニック（湘南台）理事長
現在、厚生労働委員会
原子力問題調査特別委員会委員

あべともこ公式Twitter @abe_tomoko
https://twitter.com/abe_tomoko

あべともこ事務所公式Facebookページ
https://www.facebook.com/abetomoko.jp

あべともこ　検索

あべともこ後援会入会及び、ボランティアスタッフ募集中！

接種後1週間までの副反応（2～4歳）NHK

	1回目	2回目	3回目
発熱（38度以上）	5.2%	4.9%	5.1%
けん怠感	29.7%	25.7%	24.5%
おう吐	3%	3.4%	1.6%
下痢	7.7%	6.7%	5.1%

（ファイザー社の臨床試験）

	1回目	2回目	3回目
発熱（38度以上）	7.2%	7.4%	6.8%
食欲減退	22.2%	22.2%	20.2%
いらいら	51.2%	47.4%	43.6%

（ファイザー社の臨床試験）

出典 NHK

立憲民主党神奈川県総支部連合会　〒231-0012 横浜市中区相生町4-69-2F　TEL 045-226-2377 FAX 045-226-2378
衆議院議員　あべともこ事務所　〒251-0025　藤沢市鵠沼石上1-13-13-1F
TEL 0466-52-2680　FAX 0466-52-2681 E-mail：inochi@shonanfujisawa.com